

# 土着天敵でナスのアザミウマ防除

## 要約

天敵にやさしい殺虫剤（選択性殺虫剤）を利用することで、土着天敵であるヒメハナカメムシ類が活動しやすい圃場環境を作り、薬剤散布に依存しないミナミキイロアザミウマ防除が可能である。天敵にやさしい殺虫剤に切り替えることでカスミカメ類が発生しやすくなるが、時期を限定した非選択性殺虫剤の使用で対処できることがわかった。

## 現状(背景)と課題

- ・発生害虫が多く、多回数の殺虫剤散布が必要
- ・ミナミキイロアザミウマの薬剤抵抗性発達が顕著
- ・非選択性殺虫剤の使用により土着天敵が死滅
- ・カスミカメ類被害が増加

## 目標

- ・土着天敵によるアザミウマ防除
- ・殺虫剤散布回数の低減
- ・カスミカメ類の被害低減

## 活動内容

- ・指導対象：県内夏秋ナス生産者、305a、40名
- ・選択性殺虫剤を活用した防除体系の普及定着を図るため、病害虫防除所と連携して講習会や現地巡回指導の実施
- ・カスミカメ類の発生調査に基づく非選択性殺虫剤の使用時期の検討
- ・土着天敵を用いたアザミウマ対策に係る意識啓発のためのパンフレット作成

## 成果

- ・土着天敵を活用した防除体系に取り組んだ栽培面積が増加

H25：250a → H26：305a



栽培講習会



土着天敵ヒメハナカメムシ類

農業研究開発センター 技術支援課  
担当：野菜指導係 安藤正明・吉村あみ・西村憲三  
小畠巳奈・堀川大輔  
先進技術普及事業

## 普及活動のポイント

- 研究成果を利用した現地実証、指導、技術導入
- 「選択性殺虫剤一覧」および「土着天敵を利用する防除暦」を用いて、病害虫防除所と連携した講習会の開催
- 普及、生産者、研究、行政の綿密な連携
- 広く情報提供するために啓発パンフレットを作成

## 対象の変化

- 取り組み生産者の多くが技術を理解し、土着天敵を用いたアザミウマ防除に成功。

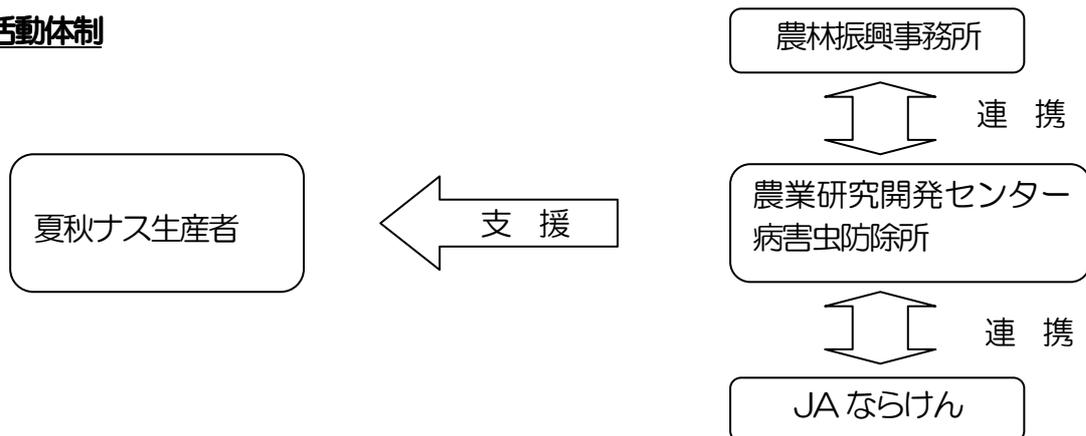
## 対象者からのコメント

• 天敵保護の防除体系の重要性は認識しており、ミナミキイロアザミウマの被害もないので継続して取り組む。但しカスミカメ類および果樹カメムシ類の対策は必須で、被害が大きくなった場合は慣行防除への切り替えも視野に入れた指導が必要。

## これからの活動ビジョン

• 現地指導や講習会等の活動を引き続き行い、既取組生産者における技術の定着および安定生産支援を行う。さらに、意識啓発等による取組生産者の増加を図る。

## 活動体制



## 用語解説

### 土着天敵

地域の圃場周辺環境に生息している益虫。この技術ではヒメハナカメムシ類のことを指す。

### 選択性殺虫剤

対象とする害虫には高い効果を示すが、それ以外の土着天敵などに与える影響は小さい殺虫剤

### 非選択性殺虫剤

対象とする害虫以外の土着天敵にも高い効果を示す殺虫剤